

第1回にほんまつ菓子博開催 江戸時代から続く匠の技を披露

1月21日、市民交流センターで「第1回にほんまつ菓子博」が開かれ、城下町二本松の銘菓を求める多くの人でにぎわいました。

二本松藩では江戸時代、担当奉行を配置するほど菓子作りに力を入れていました。その流れを受け継ぎ、明治期以降も市内には多くの菓子店が並び、和菓子が特産品となっています。

会場には伝統の和菓子店や人気の洋菓子店など合わせて15店が出店し、午前9時のオープンと同時に行列ができるほどで、用意した菓子が売り切れ、補充を繰り返す店が相次ぎました。菓子作り体験も人気を集め、親子など合わせて約130人が参加し、市内の菓子職人の指導の下、熱心に取り組んでいました。



◀会場内に展示された創作菓子の一部

▼菓子作り体験の前に、職人の方が参加者へ作り方を教えている様子。参加者らは熱心に聞き入り、スマホで動画を録画する参加者も。



全国学校給食週間に郷土料理の給食 二本松市産のニンジンを使用した「いかにんじん」が給食に

1月23日と24日、全国学校給食週間に合わせ、市内小中学校の給食に二本松市産のニンジンを使用した郷土料理「いかにんじん」が提供されました。

材料として使用されたニンジンは市内原セ地区で栽培されたものです。楽しい給食の時間、子どもたちは元気に「いかにんじん」を頬張っていました。

郷土料理を使用した給食を食べることで、子どもたちが地元への理解を深めていくことが期待されます。



▲口いっぱい、いかにんじんを頬張る小浜小1年の児童

安達太良山で救助訓練 冬山遭難事故に備えて

雪が降り積もる1月24日、二本松市、二本松警察署、安達広域消防本部、あだたら山の会等が連携し、安達太良山での冬山遭難救助訓練が行われました。

訓練を前に、あだたら高原スキー場で出発式が行われ、その後「下山予定の登山者が翌日になっても下山せず、家族から捜索願が出された」との想定で訓練開始。救助隊は勢至平方面へ入山し、山中でブルーシートやストレッチャーを使った遭難者搬送、簡易テントを利用した緊急時の避難方法などを確認しました。



▲雪が降り積もる中、出発式に臨む救助訓練参加者たち

元気な児童生徒育成支援事業(スキー教室) 二本松の冬を満喫

1月から2月にかけて、市内2カ所のスキー場で、市内の小学4・5・6年生と中学1年生を対象としたスキー体験活動が行われました。写真は2月2日に塩沢スキー場で行われた塩沢小学校の様子です。塩沢小学校では地元にはスキー場があることから、校外学習の一環として、1年生から3年生の児童も雪遊びスキー教室として参加しています。時折雪が舞い散る中、1・2年生はそり滑り、3年生以上はスキーを元気一杯楽しみました。



第18回あだたら杯東北中学校女子バレーボール大会 県内外の精鋭16チームが熱戦

2月3日～4日にかけて、城山総合体育館と城山第二体育館を会場に、第18回あだたら杯東北中学校女子バレーボール大会が行われました。県外からは、青森、岩手、山形、新潟の各県の代表8チームが参加し、県内のトップチームを合わせた計18チームで熱戦が繰り広げられ、優勝は青森県代表の三沢第二中学校でした。この大会から世界へ羽ばたく選手が輩出されることを期待します。



日本郵便(株)東北支社から絵画の寄贈 大山忠作画伯の描いた切手原画

2月7日、日本郵便(株)東北支社から、名誉市民である大山忠作画伯が1990年に切手の原画として描いた絵画の寄贈を受けました。

作品は、大山画伯が少年時代、阿武隈河畔の桃の思い出を題材にしたもので、赤く熟した桃は五感を刺激し、思わず手を伸ばしたくなるような素晴らしい作品です。今回寄贈いただいた作品は、大山忠作美術館に展示していく予定です。



▲左から日本郵便(株)の高島貞邦さん(福島県北部地区連絡会統括局長)、大住清則さん(東北支社経営管理本部長)と三保市長

あだたら高原スキー場



二本松市奥岳温泉
あだたら高原リゾート
TEL 0243-24-2141

詳しくは
WEBで→

- スキーこどもの日 毎月第3日曜日
1日券(小学生)…1,000円
スキースクール半額、宝探し
- レディースデー 毎週火曜日
- シニアデー 毎週水曜日

※レディースデーとシニアデーには除外日があります。

<http://www.adatara-resort.com>

絶景の露天風呂



(写真は紅葉時期です)

《あだたら山奥岳の湯》

- 営業時間 10時～17時(年中無休)(メンテナンスによる休業日あり)
- 料金 大人 600円 小人 400円